



「日本本土最端中学校 Student exchange meeting」開催

12月14日(木)、日本本土最端に位置する中学校4校をオンラインで結び、【それぞれの学校・地域の特徴等を発表・交流することで、生徒の視野を広げるとともに、学校や地域への愛着や誇りを醸成し、「ふるさと」の未来に積極的に関わろうとする人材の育成に資する】ことを目的に、「日本本土最端中学校 Student exchange meeting」を開催しました。

同じ日本に住んでいるとはいえ、遠く離れた学校とは、なかなか交流ができるものではありません。オンラインの利点を生かし、時間と空間を飛び越え、交流することで、それぞれの地域の特徴や違いを知るとともに、自分が住んでいる「ふるさと」について、さらに考える機会にしてほしいという思いから、計画した取組です。

当日は、司会をお願いしたフリーアナウンサーの DJ マークさんの軽快な語り口のもと、4校それぞれが地域や学校の特徴をプレゼンテーションや動画で発表し、質疑応答を行いました。画面越しではありましたが生徒たちも次第に打ち解け、大盛況に終わった交流会でした。



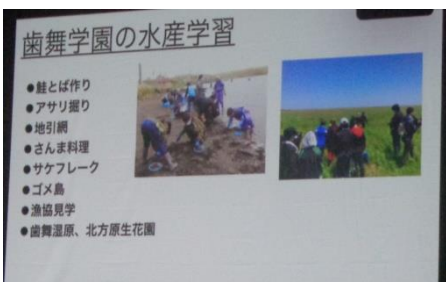
【アトラクション・竜宮太鼓】



【司会の DJ マークさん】



【開会あいさつ】



【北海道根室市立歯舞学園の発表】



【本校の発表】



【鹿児島県南大隅町立第一佐多中学校の発表】



【北海道稚内市立宗谷中学校の発表】



【質問する本校の生徒たち】



【交流会の様子】

本校会場には、長崎県教育委員会、佐世保市教育委員会の関係者を始め、地域の皆様、一般の方々、マスコミの方々に多数ご来場いただきました。ありがとうございます。なにぶん初めての取組で、映像、音声等のいくつかのトラブルもありましたが、4校の児童・生徒が限られた時間の中で工夫を凝らした発表を行ってくれました。本交流会を実施するにあたり、ご協力いただきましたすべての皆様に感謝申し上げます。

今後も生徒の「ふるさと」を思う心や、ICT 活用能力を更に育てていきたいと考えております。

また、本交流会は次年度以降も発展・継続させていくことを4校の校長で確認したところです。その際は、ご協力と応援のほど、よろしくお願いいたします。

※生徒や来場者の方々の感想は、次号で紹介いたします。